

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	文化財保護意識の啓発						継続					
コード	24	-	85	-	02	-	00	予算事業名	文化財の活用			
担当部署	教育総務部	文化財保護課	管理担当・調査担当	予算事業コード	会計	10	款	10	項	06	目	04

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	2章	学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	実施計画事業名	文化財保護意識の啓発	
方向性(節)	3節	歴史文化の継承と新しい市民文化の創造	個別計画等の名称	なし	
施策	2	文化財の保存・活用	当事業に関連する事務事業	なし	
細施策	2	文化財保護意識の啓発			
事業実施の根拠となる法令・条例等	文化財保護法・川越市文化財保護条例				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	先人たちの歴史を物語る文化財の価値を市民に周知する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	年報・パンフレットなどを発行するとともに、文化財の見学会を催す。また、公民館講座等に職員を派遣する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	1,410	401	163	345	1,240	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	残部が少なくなっている「川越市文化財案内マップ」を増刷するため。					
事業費 A	824	401	137	345	1,605	135
人件費 B	2,201	2,201	2,201	2,201	2,201	2,201
総コスト(C=A+B)	3,025	2,602	2,338	2,546	3,806	2,336
正規職員(1年間の従事人数)	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源 E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)	3,025	2,602	2,338	2,546	3,806	2,336

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
活動	年報・パンフレット等の印刷部数	部	1,150	10,350	350	53,150	3,350	30年度: 50,000
	指標の定義・説明	年度ごとの文化財パンフレットなどの印刷部数の累計数						
活動	見学会等の開催回数	回	2	2	2	16	17	30年度: 20
	指標の定義・説明	文化財見学会・遺跡見学会等の開催回数						
活動	講座等への職員派遣件数	件	15	31	10	12	15	30年度: 20
	指標の定義・説明	博物館・公民館講座等への職員を派遣した件数						
	指標の定義・説明							
指標に基づく評価	パンフレットは不足分の補充のため印刷部数が年度毎にばらつきがある。見学会は永島家住宅の公開に伴い増加。							

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
年報や各種パンフレットの印刷・配布。見学会の開催、講座等への職員派遣によって、市内文化財の周知は適切に行われている。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
他の市町村においても同様の事業を通して、地域の文化財の普及・活用を行っている。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
本事業を廃止・縮小することによって、市内の文化財が周知されなくなり、地域の歴史に対する誇り・文化財愛護の精神を育成することができなくなる。	

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		教育総務部				文化財保護課	管理担当・調査担当
事務事業名称		24	85	02	00	文化財保護意識の啓発	
今後3年間の方向性	25年度	継続		文化財愛護の精神の育成、保護意識の啓発のため継続			
	26年度	継続		文化財愛護の精神の育成、保護意識の啓発のため継続			
	27年度	継続		文化財愛護の精神の育成、保護意識の啓発のため継続			